

APHRODITE-2 WORKSHOP

目的

アジア各国で観測された、日降水量データをもちより、APHRODITEの手法で、グリッドデータを共に作成する。

講師

APHRODITE-2 (谷田貝亜紀代, 樋口篤志, 豊嶋紘一, スニル・カドガライ, 安富奈津子ほか)
および技術サポートスタッフ

開催場所

日時：2017年9月11～14日 9:00～17:00

場所：千葉大学 工学部 1号館 5階 501PC演習室 (西千葉キャンパス)

プログラム概要

	9/11 (月)	9/12 (火)	9/13 (水)	9/14 (木)
AM	Session 1 ・ あいさつ ・ APHRODITEデータ作成の流れ説明	Session 3 ・ データ変換 (Task1)	Session 5 ・ 日降水量解析 (Task4)	Session 7 ・ Post process、図化、比較解析
PM	Session 2 ・ アカウント説明 ・ データスクリーニングと一次整形 (Task0)	Session 4 ・ QC (Task2) 説明 と実行	Session 6 ・ Task4結果のチェック	Session 8 ・ Wrap up (とりまとめ、発表)
夕方	Work	Work/ (Optional Session) Task3 気候値の作成	Work/ (Optional Session) 気温解析、雨雪判別	・ 資料整理、Backup

参加について

次の2つの条件を満たす方の参加を歓迎いたします。

1) APHRODITE-2プロジェクトに、雨量計による日降水量観測データ、日以下の降水量観測データ、気温(日平均、日最高・日最低)データ等を提供できる方。

2) Linuxマシンでの基本的なデータハンドリング経験を有する方。

申し込みは、データを添えて7/31までに aphrodite.precinfo@gmail.com へご連絡ください。

なお、1)を満たさないが、将来的にAPHRODITE-2との協力が可能で、この機会にデータ作成手法を勉強されたい方で、2)の条件を満たす方はこちらにご相談ください(アジア各国から15名ほどの参加予定があり、その方たちへの指導補助をしていただける大学院生、研究者も歓迎です。)

主催：環境省 環境研究総合推進費「極端降水評価と気象解析のための
APHRODITEアルゴリズムの改良(2-1602)」(APHRODITE-2 project)

共催：千葉大学環境リモートセンシング研究センター(CEReS)

弘前大学 大学院 理工学研究科

京都大学 防災研究所

科学研究費基盤研究(C)15K05291 (安富奈津子)